

第 1 回神奈川県住宅政策懇話会での議論要旨について

第 1 回 令和 2 年 11 月 17 日（火）10:00～12:00 県庁 12 階大会議室（WEB 会議併用）

主な議題・論点

- 神奈川県賃貸住宅供給促進計画の一部改定について
- 神奈川県住生活基本計画の改定について

を主な議題として、ご意見をいただいた。

委員から頂いた主なご意見

- 神奈川県賃貸住宅供給促進計画の一部改定について
（セーフティネット住宅の登録基準の緩和について）
＜一般住宅の基準＞
 - ・ 緩和することによって、県全体への広い意味でのメリットはあると思う。
 - ・ 都会では、基準を緩和するメリットがあると思うが、他の地域でも基準緩和により登録が促進されるのか注意深く見ていきたい。
 - ・ 基準緩和により登録が進むのであれば要配慮者への住宅提供に繋がりよいと思う。
＜シェアハウスの基準＞
 - ・ ニーズや、緩和による効果等を把握し、フォローしていくことが大事だと思う。
 - ・ 国土交通省がシェアハウスの基準を変えようとしているので、情報収集したうえで検討した方がよいと思う。
 - ・ 貧困ビジネスの関連で、声を上げられないのは高齢者だと思う。生活保護部局や高齢福祉部局等と情報共有していく必要がある。
- 神奈川県住生活基本計画の改定について
＜住宅セーフティネット＞
 - ・ 居住支援協議会の設立が進まない理由として、住宅政策の担当部門がない市町村があることが、挙げられると思う。そういった市町村の住宅政策をどこが担うのかということを意識しながら進めていくことが核となると思う。
 - ・ 市町村でそれぞれ協議会の活動を行うのではなく、横と連携しながら、地域で一緒に活動するようなことも考えられる。
＜地域コミュニティ＞
 - ・ 地域活性化にはキーパーソンが必要であり、また環境も関係している。上郷ネオポリスのような地域福祉を推進する事例が非常に理想的で、他にもできていくと良いと思う。
 - ・ 担い手やボランティアをどうやって増やすか、福祉や地域との連携をどのようにするか、その事業計画を今後詰めていくべきだと思う。
 - ・ 住宅政策、移住政策、仕事のサポートの政策などの連携の中で、進めた方がよいと思う。
 - ・ 遠くても都心へのアクセスがいい、都会にない魅力を感じられる（昭和ののにおいが感じられる）などといった方が県内外問わず、移住・定住に興味を持たれているので、広い視点で検討していった方がよいと思う。

＜マンション＞

- ・ マンション施策について、神奈川県の中でも町村レベルでは状況が違うかもしれない。実態調査を適切に進め、実際の運用にあたっては、マンション管理士との連携も必要になると思う。
- ・ 神奈川県の場合、共同住宅が非常に多くなっている。マンション管理も含めて、実際の施策としての目標や取組を進めていけるよう計画の中に書き込んだ方がよいと思う。

＜新たな生活様式＞

- ・ コロナ禍において、不可逆的な住まいと住宅などが進行しているので、当面、将来トレンドとして残っていく点は、視点に加えて議論した方がよいと思う。